

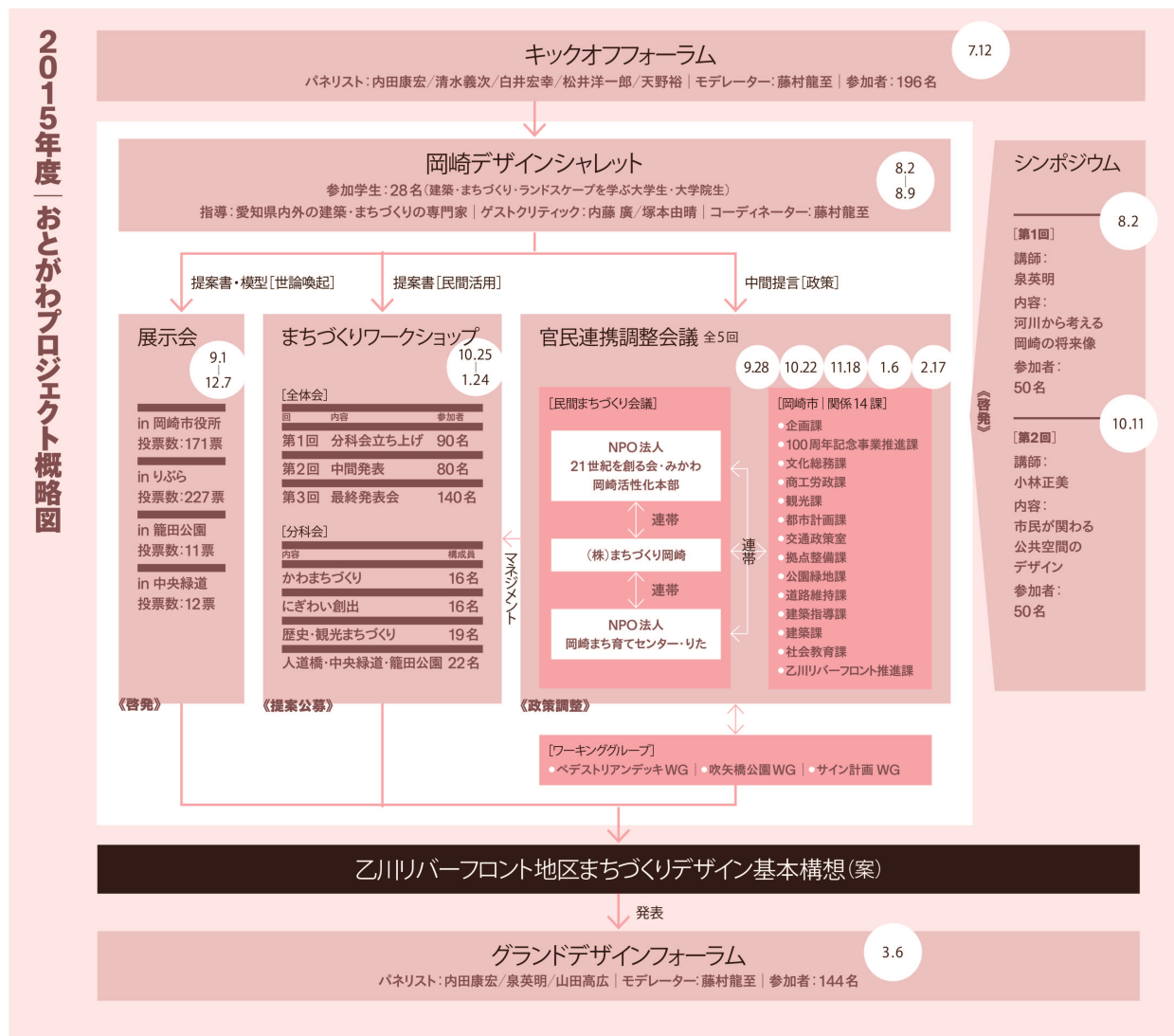
# 乙川リバーフロント地区のまちづくりについて：H27 年度の取り組み

「基本構想」の策定に向けて、2015年7月にまずキックオフフォーラムで行政と民間がそれぞれ果たすべき役割について意見交換を行った。同年8月に市民への普及啓発や課題の抽出による仮説の設定を目的に、RF地区内の具体的な敷地を対象とした提案作成イベントとして岡崎デザインシャレット(以下、シャレット)が実施され、そこで得られた知見をもとに、建築・まちづくりの専門家らによって「RF地区まちづくりに関する中間提言」が作成された。

9月から12月にかけて具体的な選択肢を提示しながら市民の声を汲み取ることを目的に、シャレットの成果物(提案書・模型)の展示会を様々な場所で催し、投票および意見交換を行った。10月からは担い手の発掘・育成を目的に、まちづくりワークショップが開催され、4つの分科会に分かれ、まちの課題を抽出し、専門家や行政も交えてそれらを解決する事業計画が練られ、先導的事業(リーディングプロジェクト)として市長へ提案発表された。

それらと並行して、9月からは既存の施策および市民活動とのすり合わせなどの調整を目的に官民連携調整会議およびワーキンググループを設置し、3つの民間まちづくり会社と岡崎市関係14課で情報の共有及び方向性の調整が図られた。

さらに市民のまちづくりに対する意識の啓発と、先進的かつ専門的なまちづくりの実践者を招いたシンポジウムを開催した。こうした経緯を踏まえて、まちの将来と実現に向けた事業推進のイメージを提示する「基本構想」がグランドデザインフォーラムで発表された。







1. キックオフフォーラム (7/12)
2. 岡崎デザインシャレット (8/2-9)
3. 展示会 (おとがわキャラバン) (8/11-12/7)
4. まちづくりワークショップ・分科会 (10/25-1/24)
5. 官民連携調整会議 (9/28, 10/22, 11/18, 1/6, 2/17)
6. まちづくりシンポジウム (10/11)
7. グランドデザインフォーラム (3/6)

